

（１）報告事項

しそカツに関する情報はコチラから→

令和8年10月28日（水）
第2回宍粟市部活動地域展開推進委員会

1. 宍粟市認定地域クラブ募集・認定の状況について

2. 実証事業について

3. 制度設計・環境整備について

4. 意見交換会の結果について

Ⅰ．宍粟市認定地域クラブ募集・認定の状況について

認定団体募集説明会（6月30日開催）

対　　象　地域クラブの立ち上げ、または指導者として参画を検討している団体及び個人

参加者数　64人

主な内容　・部活動地域展開について
・認定地域クラブの募集について
・サポートスタッフ等登録紹介制度の運用予定について
・中体連への登録申請について



兼職兼業説明会（6月30日開催）

対　　象　地域クラブの立ち上げ、または指導者として参画を検討している学校教職員

参加者数　18人

主な内容　・教職員が地域クラブ活動に従事する場合の要綱について
・各種申請書類について
・兼職兼業の許可を受けるためのプロセス、留意事項について



（宍粟市認定地域クラブ団体募集チラシ）

Ⅰ．宍粟市認定地域クラブ募集・認定の状況について

第一次募集結果

※令和8年10月26日時点

スポーツ

NO	地域クラブ名	種目	主な活動拠点
1	宍粟剣道連盟中学部	剣道	山崎町
2	宍粟市カヌークラブ	カヌー	波賀町
3	山崎ヴォルテックス	男子バレーボール	山崎町
4	少林寺拳法宍粟山崎 スポーツ少年団	少林寺拳法	山崎町
5	宍粟ベースボールクラブ ※令和9年度から活動開始予定	軟式野球	山崎町 一宮町
6	世界全極真　米山道場	極真空手	山崎町 一宮町
7	しそうNEXUSソフトボール ※令和10年度から活動開始予定	女子ソフトボール	山崎町
8	宍粟AC ※令和9年度から活動開始予定	陸上	山崎町 千種町
9	FC　SHISO	サッカー	波賀町

文化芸術

NO	地域クラブ名	種目	主な活動拠点
1	宇原獅子舞	獅子舞	山崎町
2	波賀町茶華道教室	茶華道	波賀町
3	しそうユースウインド	吹奏楽	※地域連携
4	美術・文化	文化芸術活動	※地域連携

※地域連携とは、学校部活動（顧問）と地域クラブ（地域人材）が連携しながら、徐々に活動の場を地域へ展開していくこと

申請受付済み及び審査中の競技・活動

【スポーツ】１団体（合気道）

【文化芸術】１団体（和太鼓）

※そのほか二次募集開始に向けて個別に相談している種目・団体・指導者複数あり

認定クラブに関する情報はコチラ→

2. 実証事業について

※令和8年10月時点

宍粟剣道連盟中学部

主な活動場所	北秀館道場（山崎町高下）
参加中学生	7人（山崎西中・山崎南中）
登録指導者数	7人
対象	市内中学生
活動日	火曜日　17:00～18:30 木曜日　18:30～20:30 金曜日　17:00～18:30 土・日　月2回程度
会費	入部費　5,000円 月会費　3,000円
主な活動実績	令和7年度　中体連県新人大会出場 令和8年度　中体連総体出場 中体連新人大会県大会出場





成　果

- 今年度、新たな中学校区からの生徒の入部があり、活動に広がりがあった。
- 「剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である」という教えがある。相手の人格を尊重し、心豊かな人間育成のために礼法を重んずること。剣道はそのための手段である。このことを指導者で共有し、日々指導するうちに、生徒の家庭生活や学校生活の面においても、保護者、学校側から相談や報告を受けるようになった。
- 市から実証事業としての活動費が交付された。
- 現在、県大会に向けて、部員7人が心をひとつにして目標を追いかけてくれている。

課　題

- 特に北部への展開を考え、進めていかなければならない。
- 活動時間については、火・木・金を基本としているが、学校間の行事、特に中間テスト・期末テストの日程が統一されることで、活動の予定が立てやすくなる。
- 移動手段については、生徒自身の自転車、保護者の送迎が基本となっている。保護者の横のつながり無しでは、移動手段確保は難しい。
- 市から交付された活動費については、備品・消耗品の購入、及び指導者への謝金・交通費の支出のすべてを賄うには厳しい状況。

2. 実証事業について

※令和8年10月時点

宍粟市カヌークラブ

主な活動場所	音水湖
参加中学生	1人（波賀中）
登録指導者数	6人
対象	小学4年生～高校3年生
活動日	土曜日　13:30～16:30
会費	参加費　1回500円
主な活動実績	高校生：全国大会入賞・国際大会出場





成　果

- 高校生が中学生へアドバイスする際に、高校生自身が指導者から学んだ知識や技術をアウトプットできる機会となっている。
- 参加者同士でコミュニケーション能力の向上や、相手に分かりやすく伝える力が養われるとともに、技術や能力の定着が促進されていると感じる。

課　題

- 高校生と中学生でモチベーションに差が生じやすく、指導内容や練習強度の調整が難しい。
- 参加生徒は学校部活動と掛け持ちで活動しているため、地域クラブ活動の十分な練習時間が確保できない。
- 活動に対する保護者と生徒の考え方に違いが見られる。（保護者は従来の部活動のように競技を通して心身の成長を期待する傾向がある一方で、生徒は習い事の一つとして無理のない範囲で活動したいと考えている）
- 体験会やSNS・チラシ等での情報発信を行っているが、参加者の確保が難しい。

2. 実証事業について

※令和8年10月時点

山崎ヴォルテックス（男子バレーボール）

主な活動場所	山崎西小学校　ほか
参加中学生	8人（山崎西中・山崎南中・山崎東中）
登録指導者数	7人
対象	小学6年生～中学生
活動日	月曜日　18:00～20:30 水曜日　19:30～21:00 金曜日　18:00～20:30 土曜日　12:30～15:30
会費	月会費　3,000円 年会費　10,000円
主な活動実績	令和8年度中体連新人大会出場 そのほか協会主催大会への出場





成　果

- 令和8年度の中体連新人大会出場。
- 複数の中学校から生徒が加入したことによる、校区の垣根を超えた仲間との交流が実現。
- 年度途中における希望する生徒の移籍。（部活動から地域クラブ活動）

課　題

- 施設（体育館）の予約が他団体と競合となり、自由に練習場所を確保できない。小学校の体育館は行事前などは長期間使用できない。
- 施設の優先利用。
- 施設の鍵について、保護者が学校の勤務時間内に取りに行っているが、負担が大きい。
- 生徒たちの意欲もあるため、可能な限り練習時間を確保したいが、保護者の送迎等の負担が大きい。
- 指導者の確保。（連携のとれる教員、市職員、競技経験指導者など）
- 学校との具体的な連携方法が見えない。（協力できる体制づくり）
- 参加者確保のための広報や体験会などをとおした募集活動を行いたいが、日々の練習で余裕がない。
- 事故が起きた際の対応や責任についての不安が大きい。
- 低廉な参加費でクラブを運営していくことは難しい。（ボランティアで終わらない活動にするための指導者への報酬などを支援してほしい）
- 廃部や廃校による学校備品を使用したい。

2. 実証事業について

※令和8年10月時点

しそうユースウインド（吹奏楽）

令和 8年度　　休日の合同講習会（年間4回）
令和 9年度（秋～）　休日における地域クラブ活動
令和10年度（秋～）　平日・休日ともに地域クラブ活動

休日の合同講習会における移動の実証事業

活 動 日 時	令和8年9月12日（土）9:00～12:00
会　場　校	一宮南中学校
活 動 内 容	プロの講師を招いたパートごとの講習会
参加部員数	106人 （山崎西中29人・山崎南中26人・山崎東中18人・一宮南中12人・一宮北中12人・波賀中9人）
移動の実証	楽器を伴う生徒の送迎 ※スクールバス5台活用し、各中学校と会場校間の往復運行

参加中学生へのアンケート調査実施

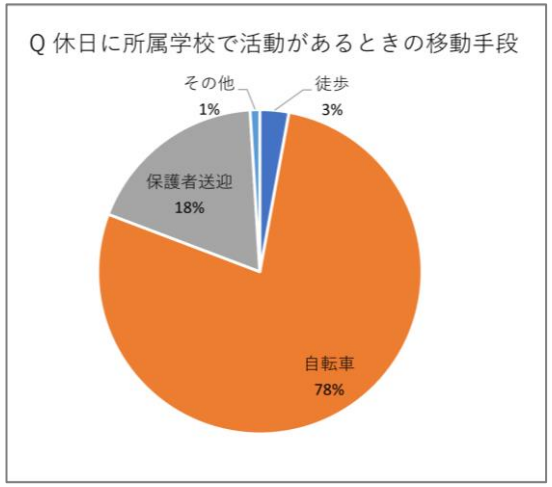
（回答率：98%）

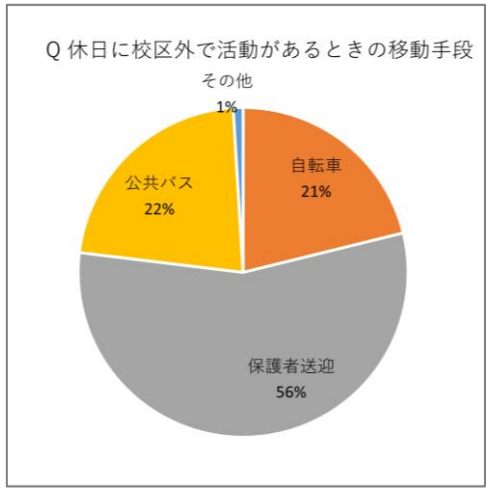
① 当日の感想（一部抜粋）

・実際にプロの演奏を聴くことで勉強になった。
・同じ楽器の人と演奏できたので楽しかった。
・他校の生徒とも関われて仲良くなれた。
・新しい練習方法を知れた。
・苦手なところを丁寧に指導してくれた。
・担当楽器の知識が増えた。
・パートごとの練習以外のこともやってほしい。



② 休日の活動における移動手段の調査





成　果

・参加生徒からは、他校の生徒との交流ができたことや、プロの演奏家による専門的な指導を受けられたことなどが好評で、満足度の高い講習会となった。
・休日の活動において、スクールバスを活用できたことにより、学校単位での移動ができた。（保護者負担軽減）

課　題

・部員数の多い学校は楽器の搬入もあったことから、マイクロバス1台だけでは移動できなかった。
・指導者の確保、活動場所の確保に課題がある。
・スクールバス（登下校が主）の配車、運転手の確保、費用に大きな課題がある。

【参考】
休日（月4回）にスクールバス6台を運行した場合の年間費用（概算）：約300万円

2. 実証事業について

※令和8年10月時点

美術・文化

山崎西中美術部指導

主な活動	クロッキー（速写）
参加中学生	22人 （山崎西中美術部）
指導者数	1人
活動日	月1回



山崎東中文化部指導

主な活動	クロッキー（速写） 多肉植物寄せ植え フラワーアレンジ 等
参加中学生	10人 （山崎東中文化部）
指導者数	2人
活動日	月1回



夏休みクロッキー教室

主な活動	クロッキー（速写）
参加者	21人 内：中学生 8人 高校生 8人 一　般 5人
指導者数	1人
活動日	8月11日（火・祝）



クロッキー＆デッサン教室

（11月開始予定）

主な活動	クロッキー＆デッサン
対象	市内中学生 高校生 一般
指導者数	2人
活動日	月1回（合計5回）



成果

- 夏休みに開催したクロッキー教室では、市内全域からの参加者があり、学校では運動部や吹奏楽部などに所属している生徒もいるなど、多世代との交流、校区の垣根を超えた交流が実現できた。
- クロッキーやフラワーアレンジなど、普段できないような体験を通して、生徒たちの活動の幅が広がった。

課題

- 部活動を自分の“居場所”としている生徒も多く、すべての部員が絵画を専門的に学びたいわけではないため、活動への意欲にバラつきがあった。
- 特に文化系の活動は高齢化が進んでおり、指導者の確保やクラブの立ち上げ・運営等に壁がある。

野球部合同チーム

平日の活動における移動の実証事業

活動日時	令和8年10月7日（水）16:15～17:45
活動場所	スポニックパーク一宮 野球場
活動内容	合同チームによる部活動
参加部員数	山崎南中7人、一宮南中1人、一宮北中8人
指導者数	3人（各中学校野球部顧問）
移動の実証	ハイエース2台（公用車）活用し、各中学校（山崎南中・一宮北中）と活動場所間の往復運行による送迎

参加中学生へのアンケート調査実施（回答率：100%）

① 当日の感想（一部抜粋）

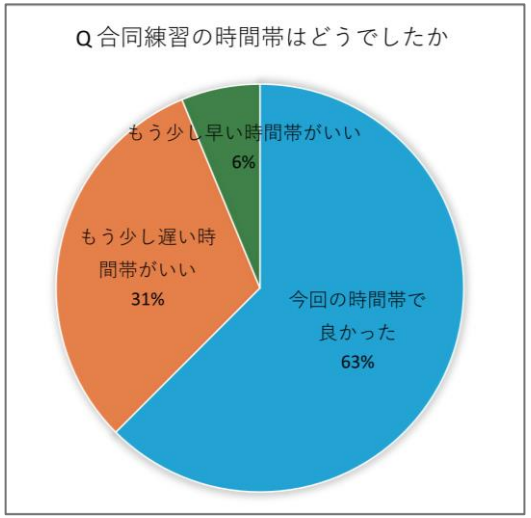
- コミュニケーションがとれて、チームワークが深まった。
- 試合に向けていろいろな確認ができた。
- みんなとの団結力が高まって良かった。
- 普段の平日はいっしょに練習できないが、今回平日にも合同練習ができて、新しい発見があった。
- 普段使えないグラウンドで練習できてよかった。

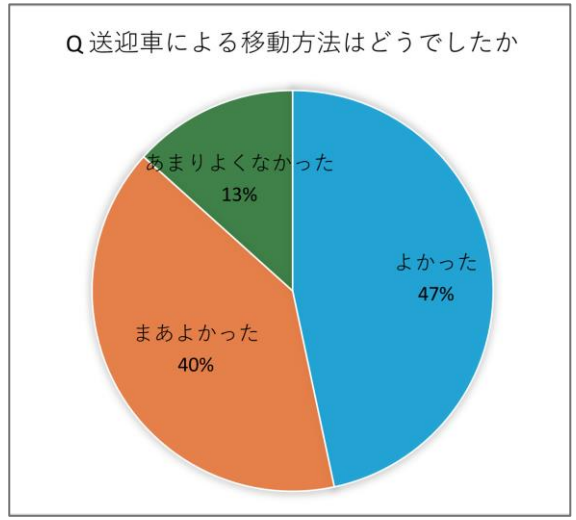


② 送迎車による移動について

- 広くて荷物も置きやすくて良かった。
- 移動中にみんなと反省会ができて良かった。
- 一度にみんなが乗って行けるから良かった。
- 車内でユニフォームに着替えたが、少し着替えるのが大変だった。

② 活動時間・移動方法について





成　果

- 合同練習により、チームとして活気のある練習ができた。
- 学校単位での移動ができた。（保護者負担軽減）
- 専用のグラウンドで質の高い練習が実施できた。

課　題

- それぞれの学校からの帰宅は各自（自転車または迎え）となるため、保護者の理解と協力が必要になる。
- 放課後の早い時間から活動できることが望ましいが、活動場所や指導者の都合に左右される。
- 本格実施に向けて、学校単位（競技単位）で送迎車と運転手を確保することは難しいため、活動場所・競技の集約と並行して移動手段の検討が必要。

宍粟市部活動地域展開推進支援について

※(案)含む

	内　容	時　期	支援先 クラブ	支援先 個人	支援先 指導者
1	**宍粟市立学校体育館の冷房使用料全額免除** 活動における学校体育館冷房使用料全額免除（夏季限定）	R８.４.１遡及	○		
2	**中体連大会等の生徒派遣費補助** 現在の学校部活動における大会派遣費と同等の補助制度の制定（R10.10までの暫定措置）	R８.７.22～	○		
3	**案）経済的困窮世帯への市認定地域クラブ参加支援** 経済的理由により、クラブ活動への参加を断念することのないように参加費と保険料の補助	R８年度中		○	

その他検討中の支援

※市認定地域クラブ指導者資格取得支援…今後中体連主催の大会出場する際に、指導者資格が必要になる可能性があるため。

※移動手段としての公共バス利用運賃改定…市認定地域クラブ活動に参加する移動手段として、公共バスの利用促進を図るための運賃改定。

※市認定地域クラブ活動支援…市認定地域クラブが活動を持続的に行えるように活動費を補助。

3. 制度設計・環境整備について

人材登録制度「しそカツ・リンク」

地域クラブ活動において、指導者およびサポートスタッフ（見守り等）として協力できる地域人材を広く募集し、人材が不足している地域クラブ（指導者）とのマッチングを支援する制度

➡ 地域全体で子どもたちの活動を支える体制づくり

【登録状況】※令和8年10月時点

可能なジャンル	種目	年代	活動可能校区
指導者・サポートスタッフ	野球・サッカー	50代	山崎西中学校・山崎東中学校
指導者・サポートスタッフ	バスケットボール	30代	すべての中学校区
指導者	eスポーツ	30代	すべての中学校区



（しそカツ・リンク登録者募集チラシ）

制度の詳細はコチラ↓

指導者研修制度

開催日時　令和8年11月26日（木）19:00～

対　　象　市認定地域クラブの登録指導者、今後地域クラブで指導する予定の人

主な内容　コンプライアンス研修

- GoodCoach（優れた指導者）とは
- 指導者の行動指針
- 発達に応じた指導
- ハラスメントの防止



（市主催指導者研修会チラシ）



（はばタンコーチ認定講習会チラシ）

4. 意見交換会の結果について

保護者向け行政説明・意見交換会

対　　象　市内小学校（10校）PTA保護者
実施期間　令和8年7月～8月
参加者数　延べ198人





質問・意見・要望等（一部）

移動手段・送迎

・市域が広く公共交通機関が限られている中、練習場所が遠方になった場合、共働き世帯や送迎が難しい家庭の子どもが参加できなくなるのではないか。
・移動手段がないことで活動を諦める家庭がないようにしてほしい。

財政支援・補助制度

・金銭面（会費・道具代等）の負担が保護者にとって大きい。
・受け皿となる地域クラブが安心して生徒へ参加を呼びかけられるよう、市の支援内容（補助の仕組み）を早く示してほしい。

情報公開の透明性とスケジュール感

・ホームページで公開するだけでなく、地域クラブの情報を、子どもたちへ直接案内したり、説明の機会をつくってほしい。
・来年1月ごろの入学説明会の時点では、ある程度の選択肢を示してほしい。

過渡期の対応・選択肢

・既存の部活動と地域クラブが同時に存在することで部員が分散し、団体戦に必要な人数が揃わず、どちらも試合に出場できなくなるのではないか。
・希望する種目の地域クラブが立ち上がらなかったら、子どもがやりたいことを諦めるしかないのではないか。家でダラダラしたり、引きこもる子どもが増えそう。
・今の学校部活動にはない地域クラブができてほしい。

指導者の負担・活動の環境

・クラブや指導者への支援体制や、指導者を守る仕組みが整っていないと、今の部活動の歪みがそのまま引き継がれるだけではないか。
・遠方での活動となると帰ってくる時間が遅くなり、学校生活に支障が出てしまう。なるべく近い場所で早い時間から活動できるようにしてほしい。

学校の関わり

・学校の教職員が関わりやすい環境をつくってほしい。
・長期休業中は特に教職員の協力が必要ではないか。

4. 意見交換会の結果について

タウンミーティング

対　　象　全市民（7会場）
実施期間　令和8年10月
参加者数　延べ148人





質問・意見・要望等（一部）

移動手段・送迎

- 特に北部地域の家庭にとって、移動支援の有無によって参加できるかできないかが大きく変わってしまう。
- 公共交通バス、スクールバスをぜひ活用してほしい。
- 仮にスクールバスで学校まで送り届けてもらったとしても、夜間に学校から自宅まで自転車で帰らせることも不安がある。

指導者の確保・支援

- 地域クラブへ指導者として関わることのメリットが感じられない。補助制度や運営面での具体を示さないとクラブは立ち上がらないと思う。
- 適切な指導体制、安全管理、クラブの運営など、指導者にかかる負担が大きすぎると感じた。
- 指導者への報酬やクラブの活動費など、十分な財源の確保が必要だと思う。
- 指導者の教育的な質の向上にも努めてほしい。

学校の関わり

- 学校から、クラブへの参加を促すような積極的な働きかけをしてほしい。
- 学校側も地域といっしょに地域展開に取り組んでほしい。
- これまで部活動を担ってきた学校側のノウハウを地域クラブへ伝える機会をつくってほしい。

責任の所在

- クラブ活動内で、大きな事故やトラブルが起きた場合の責任の所在を明確にしてほしい。

広報活動

- 企業や市職員にも積極的に地域クラブへの関わりや制度をPRしてほしい。
- 参加者確保のため、児童・生徒向けの体験会やイベントなどを積極的に開催してほしい。